

令和3年度 学校だより



令和3年 12月 24日 (金)

御前崎市立第一小学校

学校教育目標

花いっぱい 自分 友だち 御一小

E-mail: 12月号

onichi@ed.city.omaezaki.shizuoka.jp

守られている 支えられている実感を 子供たちに

本日、2 学期終業式を迎えることができました。本校の教育活動を御理解いただき、御協力御支援いただいている保護者や地域の皆様に、深くお礼申し上げます。ありがとうございます。11 月下旬と12 月上旬に、池新田、高松両地区の青少年健全育成会に出席させていただきました。お時間をいただき、本校の取組と子供たちの頑張りをお伝えすることができました。温かな眼差しでうなずきながら聞いてくださる皆様の姿から、子供たちはこうした保護者や地域の皆様に守られ、支えられて生活していることをあらためて実感いたしました。

コロナ禍の中で、多くの教育活動を変更・縮小しながらも、『子供たちの学びを止めない』『最善の教育活動を行う』ことをモットーに学校教育を行っています。これらは、職員の共通理解と協同、子供たちの理解、そして何より保護者や地域の皆様の御理解と御協力があるからこそ成り立ちます。本日の終業式の中で、子供たちにこの話をさせていただきました。リモートで各教室に配信しましたが、子供たちはしっかりと話を聞いてくれました。

人はだれも、強さと弱さを持っています。一人で頑張れる、あきらめないでやり抜く強さを持っています。でも、苦しいときに苦しい、悲しいときに悲しいと言葉に発することのできない、一見強いように見える弱さも持っています。弱くてもいい、悲しみや苦しみを言葉で発することができるよう育てたいと思います。

学校では、11 月に「困っていますアンケート」を実施しています。教員を信頼して、困っていることを書いてくれる子供たちがいます。私たちは、その子供たち一人一人に話を聞き、解決に向かう指導や支援をしています。解決のための話し合いや指導をしたり、励ましたり、時には見守ったりと学年職員や学校全体で考えながら対応しています。

明日から始まる冬休みは、家族と一緒に過ごす機会が増えるときです。持ち帰った通知表から、頑張りを認めたり、花づくり作文を話題にしたりして、2 学期の頑張りをご家族皆さんで、たくさんほめていただきたいと思います。また、苦しいときや辛いときに誰かに気持ちを伝えられることは、生きていくうえで大切なことです。私たち大人は、子供たちが困ったときに頼ってくれる存在でありたいと思います。それには、日ごろの会話やかかわりから生まれる信頼が必要です。私たちは、そういう大人でありたいと思います。お子さんの話を、たくさん聞いてあげてください。

『子供たちと御家族の皆様の年末年始が、温かく幸せな日々でありますように』

3 学期の始業式に元気に登校してくれる姿を楽しみにしています。(校長 増田久美子)

